

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月5日

上場会社名 株式会社ジャノメ 上場取引所 東
 コード番号 6445 URL <https://www.janome.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 真
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 裕幸 (TEL) 042-661-3071
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 2021年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	21,224	△0.1	1,809	△23.6	1,795	△25.1	1,167	△42.1
2021年3月期第2四半期	21,248	22.8	2,366	646.0	2,398	788.9	2,015	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,109百万円(△52.0%) 2021年3月期第2四半期 2,310百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	60.38	—
2021年3月期第2四半期	104.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	52,728	30,891	56.9
2021年3月期	53,674	30,316	54.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 29,988百万円 2021年3月期 29,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2022年3月期	—	15.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2022年3月期第2四半期末配当金の内訳 100周年記念配当 15円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	△1.9	4,000	△18.9	3,900	△22.5	2,500	△36.6	129.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 9「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	19,521,444株	2021年3月期	19,521,444株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	190,067株	2021年3月期	190,056株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	19,331,379株	2021年3月期2Q	19,331,443株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスによる世界的な行動制限もワクチン接種の広がりとともに緩和の動きが見られ、景気回復が進みました。一方で、東南アジアをはじめとする多くの新興国では感染拡大が続いており、依然として予断を許さない状況となっております。

このような中、当社グループにおきましては、従業員の安全確保と事業の安定的な継続のため、引き続き徹底した感染対策を講じてまいりました。また、コロナ禍で伸長したミシン需要の持続とさらなる販売拡大に努めました。

この結果、当第2四半期の売上高は21,224百万円（前年同期比23百万円減）、営業利益は1,809百万円（前年同期比557百万円減）、経常利益は1,795百万円（前年同期比603百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,167百万円（前年同期比848百万円減）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

<家庭用機器事業>

海外ミシン市場では、世界的なコンテナ不足による物流問題や原材料高騰の影響を受けたものの、中・高価格帯機種の販売を伸ばした北米や欧州、大洋州をはじめ、中東、ロシアなど、幅広い地域で概ね堅調に推移いたしました。

国内ミシン市場においては、SNSを活用した情報発信に継続的に取り組むとともに、創業100周年を記念した消費者参加型の企画を実施するなど、巣ごもりで増加したミシンユーザーの定着とさらなる拡大に向けて需要喚起に努めました。こうした各種取り組みは好評を得たものの、好調だった前期の反動が大きく販売は伸び悩みました。

この結果、海外・国内ミシンの販売台数は86万台（前年同期比2千台増）、家庭用機器事業全体の売上高は17,104百万円（前年同期比535百万円減）、営業利益は1,796百万円（前年同期比705百万円減）となりました。

<産業機器事業>

産業機器事業におきましては、コロナ禍で続いた設備投資意欲の減退は底打ちの傾向を見せており、市場環境が好転しつつある中、北米では展示会への実出展を再開するなど、地域の感染状況に応じてオンラインとリアルを併用した営業活動を推進いたしました。

このような状況下、卓上ロボット・サーボプレスの販売には下げ止まり感も見られた一方で、東南アジアでの感染拡大により主力市場である自動車の減産が深刻化していることや、中国経済の不安など懸念材料も多く残る中、本格的な回復には至りませんでした。

この結果、産業機器事業全体の売上高は2,662百万円（前年同期比431百万円増）、営業損失は150百万円（前年同期は213百万円の営業損失）となりました。

<IT関連事業>

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業では、生産性の向上により利益率が改善し、売上高は1,159百万円（前年同期比102百万円増）、営業利益は174百万円（前年同期比97百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は52,728百万円(前連結会計年度末比945百万円減)となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少等により25,870百万円(前連結会計年度末比1,145百万円減)となりました。固定資産は繰延税金資産の増加、有形及び無形固定資産の減価償却等により26,858百万円(前連結会計年度末比199百万円増)となりました。

負債の部は、流動負債が短期借入金の減少等により13,743百万円(前連結会計年度末比1,454百万円減)となり、固定負債は長期リース債務の減少等により8,094百万円(前連結会計年度末比65百万円減)となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により30,891百万円(前連結会計年度末比574百万円増)となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から2,769百万円減少し、7,215百万円(前年同期比1,936百万円減)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,794百万円、棚卸資産の増加2,286百万円、法人税等の支払額780百万円などによる資金の増減があり、928百万円の資金の減少(前年同期は4,950百万円の資金の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入843百万円、有形固定資産の取得による支出478百万円などにより、304百万円の資金の増加(前年同期は385百万円の資金の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少1,358百万円などにより、1,963百万円の資金の減少(前年同期は1,972百万円の資金の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日に公表しました2022年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,901	7,330
受取手形及び売掛金	6,865	7,029
商品及び製品	5,598	7,179
仕掛品	644	768
原材料及び貯蔵品	2,744	3,276
その他	538	563
貸倒引当金	△277	△276
流動資産合計	27,016	25,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,546	5,440
土地	13,961	13,951
その他（純額）	2,292	2,355
有形固定資産合計	21,800	21,748
無形固定資産		
その他	758	712
無形固定資産合計	758	712
投資その他の資産	4,098	4,397
固定資産合計	26,658	26,858
資産合計	53,674	52,728

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,862	3,000
短期借入金	7,858	6,547
未払法人税等	817	853
賞与引当金	629	691
その他	3,029	2,651
流動負債合計	15,197	13,743
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,387	3,387
退職給付に係る負債	4,002	4,037
その他	769	669
固定負債合計	8,159	8,094
負債合計	23,357	21,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
利益剰余金	11,611	12,275
自己株式	△325	△325
株主資本合計	22,658	23,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	120
土地再評価差額金	6,643	6,643
為替換算調整勘定	154	86
退職給付に係る調整累計額	△215	△183
その他の包括利益累計額合計	6,700	6,666
非支配株主持分	957	902
純資産合計	30,316	30,891
負債純資産合計	53,674	52,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	21,248	21,224
売上原価	12,087	12,595
売上総利益	9,160	8,629
販売費及び一般管理費	6,793	6,820
営業利益	2,366	1,809
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	30	39
その他	70	64
営業外収益合計	105	105
営業外費用		
支払利息	41	33
為替差損	8	47
その他	23	37
営業外費用合計	73	119
経常利益	2,398	1,795
特別利益		
固定資産売却益	86	3
特別利益合計	86	3
特別損失		
固定資産除売却損	32	4
特別損失合計	32	4
税金等調整前四半期純利益	2,452	1,794
法人税、住民税及び事業税	472	833
法人税等調整額	△112	△253
法人税等合計	359	579
四半期純利益	2,092	1,214
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,015	1,167

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	2,092	1,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	2
為替換算調整勘定	126	△139
退職給付に係る調整額	51	31
その他の包括利益合計	217	△105
四半期包括利益	2,310	1,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,252	1,132
非支配株主に係る四半期包括利益	57	△23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,452	1,794
減価償却費	571	516
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△78	△12
受取利息及び受取配当金	△34	△41
支払利息	41	33
売上債権の増減額(△は増加)	595	△181
棚卸資産の増減額(△は増加)	375	△2,286
仕入債務の増減額(△は減少)	440	196
その他	875	△178
小計	5,238	△158
利息及び配当金の受取額	38	43
利息の支払額	△41	△33
法人税等の支払額	△284	△780
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,950	△928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△649	△39
定期預金の払戻による収入	17	843
有価証券の取得による支出	—	△299
有価証券の売却による収入	—	300
有形固定資産の取得による支出	△163	△478
有形固定資産の売却による収入	489	5
その他	△79	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△385	304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,559	△1,358
配当金の支払額	△288	△479
その他	△123	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,972	△1,963
現金及び現金同等物に係る換算差額	72	△182
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,665	△2,769
現金及び現金同等物の期首残高	6,487	9,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,152	7,215

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、収益認識会計基準等の適用による当第2四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,640	2,230	1,056	20,927	320	21,248
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	328	209	552	177	729
計	17,654	2,559	1,266	21,480	497	21,978
セグメント利益又は損失(△)	2,502	△213	77	2,366	△1	2,365

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,366
「その他」の区分の損失(△)	△1
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業利益	2,366

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,104	2,662	1,159	20,925	298	21,224
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	479	221	703	139	842
計	17,106	3,142	1,380	21,628	437	22,066
セグメント利益又は損失(△)	1,796	△150	174	1,820	△13	1,807

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,820
「その他」の区分の損失(△)	△13
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,809